

# 官報

## 號外

昭和二十年一月二十九日

### ○第八十六回 貴族院議事速記録第六號

帝國議會

昭和二十年一月二十八日(日曜日)午前  
十時十五分開議

#### 議事日程 第六號

昭和二十年一月二十八日

午前十時開議

第一 臨時軍事費豫算追加案(臨

第一號) 會 議(委員長報告)

第二 豫算外國庫ノ負擔トナルベ

キ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第

二號) 會 議(委員長報告)

第三 昭和二十年度一般會計歳出

ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發

行ニ關スル法律案(政府提出、衆

議院送付) 第一讀會

第四 金資金特別會計法外五法律

中改正法律案(政府提出、衆議院

送付) 第一讀會

第五 外資金庫法案(政府提出、衆

議院送付) 第一讀會

第六 地方鐵道及軌道ニ於ケル納

付金等ニ關スル法律案(政府提

出、衆議院送付) 第一讀會

第七 鐵道抵當法中改正法律案

(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第八 日本通運株式會社法中改正  
法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第九 郵便法中改正法律案(政府

提出、衆議院送付) 第一讀會

○議長(公爵徳川國顯君) 諸般ノ報告

ハ、御異議ガナケレバ、朗讀ヲ省略致

シマス

〔參照〕

一昨二十六日本院ニ於テ可決シタル左

ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付

セリ

恩給法中改正法律案

明治三十五年法律第四十九號國務調

査ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケ

ル特例ニ關スル法律案

兵役法中改正法律案

陸軍軍法會議法中改正法律案

海軍軍法會議法中改正法律案

現役青年學校職員俸給費國庫補助法

案

戰時民事特別法中改正法律案

會計等臨時措置法中改正法律案

司法官候補及辯護士候補タル資格ノ

特例ニ關スル法律案

農林中央金庫法中改正法律案  
産業設備當國法中改正法律案  
石炭配給統制法中改正法律案

同日委員長ヨリ左ノ通分科擔當委員及

兼務委員ヲ選定シタル旨ノ報告書ヲ提

出セリ

豫算委員第一 中山 太一君

分科擔當委員

第五分科兼務委員

豫算委員第五 柴田兵一郎君

分科擔當委員

第一分科兼務委員

請願委員 井坂 孝君

第一分科擔當委員

決算委員 男爵三須 精一君

第四分科擔當委員

昨二十七日衆議院ヨリ左ノ政府提出案

ヲ受領セリ

臨時軍事費豫算追加案(臨第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ

爲スヲ要スル件(追第二號)

昭和二十年度一般會計歳出ノ財源ニ

充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法

律案

金資金特別會計法外五法律中改正法

律案

外資金庫法案

地方鐵道及軌道ニ於ケル納付金等ニ

關スル法律案

鐵道抵當法中改正法律案

日本通運株式會社法中改正法律案

郵便法中改正法律案

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通第八十六

回帝國議會政府委員仰付ラレタル旨ノ

通牒ヲ受領セリ

外務省所管事務政府委員

特命全權公使 鈴木 九萬君

軍需省所管事務政府委員

軍需書記官 岡村 武君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

臨時軍事費豫算追加案(臨第一號)、

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ

爲スヲ要スル件(追第二號)可決報告

書

本日各部ニ於テ常任委員ノ補闕選舉ヲ

行ヒシニ其ノ結果左ノ如シ

第四部

請願委員男爵多久龍二郎君ノ補闕

トシテ男爵北島貴孝君當選

第九部

請願委員子爵高橋是賢君ノ補闕ト

シテ子爵加藤泰通君當選

○議長(公爵徳川國顯君) 是ヨリ本日

ノ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ付御諸

明治二十三年三月三十一日  
第三種郵便物認可

リヲ致シマス、公爵徳川國顯君、公務

ニ付會期中、子爵高橋是賢君、病氣ニ付

八日間、請暇ノ申出ガゴザイマシタ、

許可ヲ致シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川國顯君) 御異議ナイ

ト認メマス

○議長(公爵徳川國顯君) 議事日程ニ

移リマス、日程第一、臨時軍事費豫算

追加案、臨第一號、日程第二、豫算外

國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要

スル件、追第二號、會議、委員長報告、是

等ノ兩案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ

御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川國顯君) 御異議ナイ

ト認メマス、豫算委員長八條子爵

一臨時軍事費豫算追加案(臨第一號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約

ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

右衆議院ヨリ受領シタル各案ヲ審査

シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキ

モノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年一月二十七日

委員長 子爵八條 隆正

貴族院議長公爵徳川國顯君

官報號外 昭和二十年一月二十九日

貴族院議事速記録第六號

會議

議員ノ請暇

臨時軍事費豫算追加案(臨第一號)外一件

會議

〔子爵八條隆正君登壇〕

○子爵八條隆正君 臨時軍事費豫算追加案、臨第一號、竝ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第二號、右二案ノ豫算委員會審査ノ經過竝ニ結果ニ付テ御報告申上ゲマス、委員會ハ昨二十七日、衆議院ヨリノ議案送付ヲ待チマシテ直チニ開會致シマシタ、先ヅ大藏大臣ヨリ説明ヲ承リ、次ニ秘密會ニ移リマシタ、秘密會ニ於キマシテハ、兩案ニ付キマシテ、更ニ大藏大臣、陸軍大臣及ビ海軍大臣ヨリ、ソレノ説明ヲ承リ、又軍需大臣ヨリ、其ノ所管事項ニ付キマシテ説明ヲ承ツタノデアリマス、更ニ又陸軍省ノ軍務局長ヨリ、最近ニ於ケル戦況ニ付キマシテ詳細ナル報告ヲ承リマシタ、尙又恰モ昨日ハ、帝都ニ對シテ敵機ノ空襲ガゴザイマシタノデ、内務大臣ヨリ、昨日ノ敵機來襲ノ狀況ニ付キマシテ、其ノ當時迄ニ判明致シテ居リマスル所ノ被害狀況ニ付キマシテ報告ヲ承ツタノデアリマス、併シ是等ノ説明竝ニ報告ハ、秘密會ニ於ケルコトデゴザイマスカラ、茲ニ其ノ御報告ハ省略致シマス、次ニ本臨時軍事費ノ豫算ノ内容ニ付キマシテ簡單ニ申上ゲマスルガ、臨時軍事費ノ追加額ハ、歲入歳出共ニ八百五十億圓デアリマス、而シテ歳出

豫算ノ内譯ハ、臨時軍事費トシテ六百億圓、豫備費トシテ二百五十億圓デアリマス、又之ニ對スル財源タル歳入豫算ハ、公債金三百五十二億九千餘萬圓、又現地ニ於テ支出セラレマスル所ノ軍事費ノ所要ニ充ツル爲、南方開發金庫等ヨリノ借入金ガ三百一億三千餘萬圓、ソレカラ一般會計及朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳、樺太廳、帝國鐵道、通信事業、是等ノ各特別會計ヨリノ繰入金、合シマシテ百十六億七千餘萬圓、次ニ雜收入七十八億九千餘萬圓デアリマス、一般會計及特別會計ヨリノ繰入ハ、前年度ニ於キマスル八十三億九千餘萬圓ニ比シマシテ、今回ハ三十二億八千餘萬圓ノ増加デアリマスルガ、是ハ今回計畫ノ増稅其ノ他ノ增收ヲ此ノ臨時軍事費ニ繰入ル、コトニナリマシタ結果デアリマス、而シテ昭和十二年支那事變勃發以來ノ臨時軍事費ニ、今回ノ追加額ヲ加ヘマスルト云フト、臨時軍事費ノ豫算ノ總額ハ累計ニ千二百十九億三千餘萬圓ト相成ルノデアリマス、臨時軍事費ト一般會計、即チ昭和二十年度ノ一般會計ノ豫算デアリマスルガ、目下衆議院ニ於テ審議中ノモノデアリマス、此ノ一般會計ノ豫算トノ合計額ハ千百十九億三千餘萬圓ト相成リマスルガ、其ノ一般會計ヨリ

臨時軍事費ヘノ繰入額ヲ控除致シマシタ純計額ハ、千十八億千餘萬圓ト相成リマス、又昭和二十年度ニ於ケル公債發行豫定額ハ、臨時軍事費ノ財源タル公債金收入竝ニ一般會計及特別會計ノ公債金收入合計致シマシテ四百六十億二千餘萬圓デアリマシテ、昭和十九年度公債發行豫定額ニ比シマスルト、百二十二億四千餘萬圓ノ増加ト相成ツテ居リマス、更ニ又來年度ニ於キマスル國民貯蓄目標デアリマスルガ、公債消化資金、産業資金ヲ賄フベキ貯蓄目標額ト致シマシテ、概略六百億圓トナル見込デアルサウデアリマス、以上臨時軍事費豫算ノ内容ニ付テ、又參考トナルベキ點ニ付キマシテ御説明申上ゲマシタ、次ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ニ付申上ゲマス、本件ハ兵器、被服、糧秣等ノ製造調達等ニ關スルモノデアリマシテ、豫算外ニ於テ、豫メ之ガ契約ヲ爲スノ必要アルモノガ増加シタルニ依リマシテ、其ノ額ヲ三十億圓増額致スモノデアリマス、秘密會ニ於キマシテハ二名ノ委員ヨリ御質問ガアリマシタガ、其ノ他ニ御質問ハゴザイマセマデシタ、直チニ討論採決ニ入りマシタガ、本豫算ハ決戦ノ現段階ニ於キマシテ、敵米英ヲ撃滅スルニ要スル陸海兩軍ノ戰費デアリ

マス故、如何ニ巨額ノ豫算ニ付キマシテモ固ヨリ論議ノ餘地ノアルベキモノデハアリマセヌ、仍テ滿場異議ナク、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ次第デアリマス、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川國顯君) 別ニ御發言モナケレバ、是ヨリ採決ヲ致シマス、御異議ガナケレバ、兩案全部ヲ問題ニ俟シマス、兩案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕  
○議長(公爵徳川國顯君) 總員起立デアリマス、仍テ兩案ハ全會一致ヲ以テ可決セラレマシタ

○議長(公爵徳川國顯君) 日程第三、昭和二十年度一般會計支出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案、日程第四、金資金特別會計法外五法律中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ兩案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵徳川國顯君) 御異議ナイト認ママス、石渡大藏大臣

昭和二十年度一般會計支出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因ニ議院法案五十四條ニ依リ及送付候也  
昭和二十年一月二十七日  
衆議院議長 岡田 忠彦  
貴族院議長 公爵徳川國顯君

第一條 政府ハ昭和二十年度一般會計支出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外七十六億六百七十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得  
政府ハ昭和二十年度一般會計支出豫算中翌年度ヘノ繰越額ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外昭和二十一年度ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得但シ前項ノ規定ニ依ル公債又ハ借入金ト通ジテ前項ノ制限額ヲ超ユルコトヲ得ズ  
前二項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前二項ノ制限額ヲ超エテ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二條 昭和十五年法律第六十九號  
中左ノ通改正ス

第一條中「同十九年度分」ヲ「同二十年度分」ニ、「十二億七千四百七十萬圓」ヲ「二十一億四千萬圓」ニ改ム

第三條 昭和十八年法律第九十三號  
中左ノ通改正ス

第一條 朝鮮ニ於ケル左ニ掲グル  
經費ノ財源ニ充ツル爲政府ハ四億  
七千四百三十萬圓ヲ限リ公債ヲ  
發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

一 食糧ノ生産、供出及配給ヲ  
確保スル爲ノ補助金、獎勵金  
及助成金

二 石炭及化學肥料ノ價格ヲ調  
整スル爲ノ補助金

三 石炭、鐵礦、鐵鋼、輕金屬  
及非鐵金屬ノ増産ヲ促進スル  
爲ノ補助金

四 鐵鋼及輕金屬ノ生産ノ際ニ  
於ケル原料等ノ效率ノ使用ヲ  
促進スル爲ノ補助金

五 企業ノ整備ニ要スル經費  
第四條 昭和十八年法律第九十四號  
中左ノ通改正ス

第一條中「米穀ノ生産ヲ確保スル  
爲ノ補助金及」ヲ「米穀ノ生産及供  
出ヲ確保スル爲ノ補助金及獎勵金

並ニ、「六千九百八十萬圓」ヲ  
「二億三千二百萬圓」ニ改ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和二十年一月二十五日  
昭和二〇年一月二十五日  
充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法  
律案中別紙ノ通議院法第三十條ニ依  
リ修正ス

内閣總理大臣 小磯 國昭  
大藏 大臣 石渡莊太郎

第一條中「七十六億六百七十萬圓」ヲ  
「八十八億五千五百六十萬圓」ニ修正  
ス

昭和二十年一月二十六日  
昭和二〇年一月二十六日  
充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法  
律案中別紙ノ通議院法第三十條ニ依  
リ修正ス

内閣總理大臣 小磯 國昭  
大藏 大臣 石渡莊太郎

第一條中「八十八億五千五百六十萬  
圓」ヲ「九十一億九千四百九十萬圓」  
ニ修正ス

金資金特別會計法外五法律中改正  
法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因  
テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候  
也

昭和二十年一月二十七日

衆議院議長 岡田 忠彥  
貴族院議長 公爵徳川閑順殿

金資金特別會計法外五法律中改正  
法律案

第一條 金資金特別會計法中左ノ通  
改正ス

第二條 食糧管理特別會計法中左ノ  
通改正ス

第四條ノ三中「二十八億圓」ヲ「三  
十八億圓」ニ改ム

附則ニ左ノ五項ヲ加フ  
會計法戰時特例ニ依リ一般會計ニ  
屬スル米穀ノ生産ヲ確保スル爲  
ノ補助金ヲ本會計ニ屬セシメタル  
場合ニ於テハ當該補助金ハ一年內  
ニ償還スベキ證券ヲ以テ其ノ額面  
金額ニ依リ之ヲ交付ス

前項ノ證券ハ無記名證券トス  
第三條第三項及第四條ノ規定ハ第  
二項ノ證券ノ發行及割引ニ付、第

二項ノ證券ノ發行及割引ニ付、第

四條ノ二ノ規定ハ第二項ノ證券  
ノ借換（借換ノ爲爲シタル借入金  
及借換ノ爲發行シタル證券ノ借換  
ヲ含ム）ニ付之ヲ准用ス

前項ニ於テ准用スル第三條第三項及  
第四條ノ二ノ規定ニ依ル證券及借入  
金ノ額ハ通ジテ最高十四億圓トス

第五條ノ規定ハ前項ノ證券及借入  
金ニ關スル國債整理基金特別會計  
ヘノ繰入ニ付之ヲ准用ス

第三條 薪炭需給調節特別會計法中  
左ノ通改正ス

第三條但書中「二千五百萬圓」ヲ  
「八千萬圓」ニ改ム

第四條 燃料局特別會計法中左ノ通  
改正ス

第二條第二項中「五千萬圓」ヲ「一  
億五千萬圓」ニ改ム

第三條第一項但書中「六千萬圓」ヲ  
「二億二千萬圓」ニ改ム

第五條 朝鮮食糧管理特別會計法中  
左ノ通改正ス

附則第一項ノ次ニ左ノ五項ヲ加フ  
會計法戰時特例ニ依リ朝鮮總督府  
特別會計ニ屬スル食糧ノ生産ヲ確  
保スル爲ノ補助金ヲ本會計ニ屬セ  
シメタル場合ニ於テハ當該補助金  
ハ一年內ニ償還スベキ證券ヲ以テ  
其ノ額面金額ニ依リ之ヲ交付ス

前項ノ證券ハ無記名證券トス  
第三條第三項及第四條ノ規定ハ第  
二項ノ證券ノ發行及割引ニ付、第  
五條ノ規定ハ第二項ノ證券ノ借換  
（借換ノ爲爲シタル借入金及借換  
ノ爲發行シタル證券ノ借換ヲ含ム）  
ニ付之ヲ准用ス

前項ニ於テ准用スル第三條第三項及  
第五條ノ規定ニ依ル證券及借入金ノ  
額ハ通ジテ最高三億五千萬圓トス

第七條ノ規定ハ前項ノ證券及借入  
金ニ關スル國債整理基金特別會計  
ヘノ繰入ニ付之ヲ准用ス

第六條 臨時軍事費特別會計法中左  
ノ通改正ス

第四條ヲ第五條トシ第三條ヲ第四  
條トス

第三條 外國ニ於テ支拂ヲ爲ス臨  
時軍事費支辨ノ爲ノ借入金ノ利  
子ハ之ヲ臨時軍事費ト看做シ本  
會計ノ所屬トス

前項ノ借入金ノ利子ニ付テハ國  
債整理基金特別會計法第一條第  
一項ノ規定ヲ適用セズ

附 則

本法ハ昭和二十年一月二十七日ヨリ之ヲ施行ス  
但シ第三條、第四條及第六條ノ規定  
ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

國務大臣石渡莊太郎君登壇

○國務大臣(石渡莊太郎君) 只今議題トナリマシタ昭和二十年一度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外一件ノ法律案ニ付提案ノ理由ヲ説明致シマス、先ツ昭和二十年一度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案ニ付テ説明致シマス、第一ハ、昭和二十年一度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲ノ公債發行デアリマスガ、昭和二十年一度歳入歳出總決算案並追加案第一號及第二號ニ計上セル歳出ノ財源ト致シマシテハ、現行ノ道路公債法ニ依リ公債ヲ發行致シマスル外、歳入ノ不足ヲ填補スル爲メ九十一億九千四百九十萬圓ヲ限リ公債ノ發行ヲ要スルデアリマス、之ガ爲メニハ新タニ起債ノ機能ヲ得ルコトガ必要デアリマスノデ、所要ノ規定ヲ設ケムトスルモノデアリマス、第二ハ、大東亞戰爭ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲メノ公債發行ガアリマス、大東亞戰爭ニ關シ功勞ノアリタル陸海軍人等ニシテ死致シタル者ニ對シ、一時賜金トシテ交付スル爲メノ公債ノ發行限度額ヲ、八億六千五百三十萬圓増加スルノ必要ガアルノデアリマシテ、所要ノ法

的措置ヲ講ゼムトスルモノデアリマス、第三ハ、從來朝鮮ニ於キマシテハ米穀生産確保補給金、石炭價格調整補給金、企業整備ニ要スル設備等ノ財源ニ充ツル爲メ公債ヲ發行シ得ルコトナツテ居ツタノデアリマスガ、今回公債財源ヲ以テ支辨シ得ル經費ノ範圍ニ、食糧ノ供出確保獎勵金、石炭鐵鋼等ノ所謂特別價格調整獎金等ヲ加ヘマスルト共ニ、公債ノ發行限度額ヲ一億六千三百五十萬圓増加スルノ必要ガアルノデアリマスノデ、所要ノ法的措置ヲ講ゼムトスルモノデアリマス、第四ハ、從來臺灣ニ於キマシテハ米穀生産確保補給金及ビ企業整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲メ公債ヲ發行シ得ルコトナツテ居ツタノデアリマスガ、今回公債財源ヲ以テ支辨シ得ル經費ノ範圍ニ、米穀ノ供出確保獎勵金ヲ加ヘ、公債ノ發行限度額ヲ六千二百二十萬圓増加スルノ必要ガアルマスノデ、所要ノ法的措置ヲ講ゼムトスルモノデアリマス、次ニ金資

金特別會計法外五法律中改正法律案ニ付テ説明致シマス、先ツ第一ハ金資金特別會計法中ノ改正デアリマスガ、産金事業ノ整備ノ進捗ニ伴ヒマシテ、金資金ノ現行使用限度額ヲ二億五千萬圓増加スルノ必要ガアリマスルノデ、所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、第二ハ食糧管理特別會計法中ノ改正デアリマス、同特別會計ノ圓滑ナル運

ヲ圖ル爲メ食糧證券ノ最高發行限度額ヲ、十億圓増加スルノ必要ガアリマスルノデ、會計事務ノ簡捷ヲ圖ル爲メ、從來一般會計ニ於テ負擔シテ居リマシタ米穀生産確保補給金ヲ本會計ニ移シ、食糧證券ヲ以テ交付スルコト致スノヲ適當ト認メマシテ、所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、第三ハ薪炭供給調節特別會計法中ノ改正デアリマスガ、同特別會計ノ支拂ニ支障ナカラシムル爲メ、其ノ借入金ノ限度額ヲ五千五百萬圓増加スルノ必要ガアリマスノデ、所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、第四ハ燃料局特別會計法中ノ改正デアリマスガ、同特別會計ノ事業量ノ増大ニ伴ヒマシテ、其ノ据置運轉資本ノ法定額ヲ一億圓増加スルノ必要ガアリマスルノデ、益金納付ノ爲メ同特別會計ニ於テ一時的ニ必要ナル現金ヲ充實スル爲メ、借入金ヲ以テ其ノ据置運轉資本ヲ一時補足シ得ル限度額ヲ六千萬圓増加スルノ必要ガアリマスノデ、所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、第五ハ朝鮮食糧管理特別會計法中ノ改正デアリマスガ、食糧管理特別會計ニ於ケルト同様ノ趣旨ニ依リマシテ、食糧生産確保補給金ヲ、朝鮮食糧證券ヲ以テ交付スルコト致スノヲ適當ト認メマシテ、所要ノ改正ヲ行ハ

ムトスルモノデアリマス、第六ハ臨時軍事費特別會計法中ノ改正デアリマシテ、外國ニ於テ支拂ヲ致シマス臨時軍事費支辨ノ爲メ借入金ノ便宜上、之ヲ臨時軍事費特別會計ノ所屬ト致シマスノヲ適當ト認メ、所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、以上二件ノ法律案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上、速カニ御協賛アラムコトヲ希望致シマス

- 子爵戸澤正巳君 只今議題トナリマシタ昭和二十年一度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外一件ノ特別委員ノ數ヲ十二名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス
- 子爵秋田重季君 賛成
- 議長(公爵徳川圀順君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵徳川圀順君) 御異議ナシト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス
- 〔寺光書記官朗讀〕
- 昭和二十年一度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外一件特別委員
- 長 徳川 義親君 伯耆堀田 正恒君
- 子爵柳澤 光治君 子爵綾小路 護君
- 男爵今園 國貞君 男爵周布 兼道君
- 黒田 英雄君 松本 學君
- 兒玉 謙次君 瀧川 儀作君
- 諸橋久太郎君 堀田 團平君
- 議長(公爵徳川圀順君) 日程第五、外資金庫法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、石渡大蔵大臣
- 外資金庫法案
- 右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
- 昭和二十年一月二十七日
- 衆議院議長 岡田 忠彦
- 貴族院議長 公爵徳川圀順君
- 外資金庫法案
- 第一章 總則
- 第一條 外資金庫ハ大東亞戰爭ニ際シ國家ノ政策ニ即シ在外資金ノ調達運用ヲ爲スコトヲ目的トス
- 外資金庫ハ法人トス
- 第二條 外資金庫ハ主タル事務所ヲ東京都ニ置ク
- 外資金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ銀行其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ヲシテ業務ノ一部ヲ取扱ヘシムル

コトヲ得

第三條 外資金庫ノ資本金ハ五千萬圓トス

第四條 政府ハ五千萬圓ヲ外資金庫ニ出資スベシ

前項ノ出資ハ國債證券ヲ交付シテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大蔵大臣之ヲ定ム

第五條 出資ノ第一回ノ拂込金額ハ出資金額ノ五分ノ一ヲ下ラザル額トシ第二回以後ノ出資ノ拂込ノ時期及金額ハ外資金庫主務大臣ノ認可ヲ受ケテ之ヲ定ム

第六條 外資金庫ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 資本金額及資産ニ關スル事項

五 役員ニ關スル事項

六 業務及其ノ執行ニ關スル事項

七 經理ニ關スル事項

定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第七條 外資金庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項

ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第八條 外資金庫ニハ所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セズ

都道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ外資金庫ノ事業ニ對シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

第九條 外資金庫ニ付解散ヲ必要トスル事由發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第二章 職員

第十條 外資金庫ニ役員トシテ理事長一人、理事三人以上及監事二人以上ヲ置ク

第十一條 理事長ハ外資金庫ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ外資金庫ヲ代表シ理事長ヲ輔佐シテ外資金庫ノ業務ヲ掌理シ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

第十二條 理事長、理事及監事ハ主務大臣之ヲ命ズ

第十三條 外資金庫ノ職員ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト看

做ス

第二條第二項ノ場合ニ於テ當該業務ニ從事スル銀行其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ノ職員ニ付亦前項ニ同ジ

第三章 業務

第十四條 外資金庫ハ左ノ業務ヲ行フ

一 主務大臣ノ定ムル貸付及預リ

二 主務大臣ノ定ムル價格調整ニ關スル業務

三 前二號ノ業務ニ附帶スル業務

第十五條 外資金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前條ノ業務ノ外外資金庫ノ目的達成上必要ナル業務ヲ行フコトヲ得

第四章 經理

第十六條 外資金庫ハ勅令ヲ以テ定ムル時期迄ノ毎期間ヲ以テ一事業年度トス

第十七條 外資金庫ハ設立ノ時及毎事業年度ノ初ニ於テ財産目録、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ主務大臣ノ承認ヲ受クベシ

第十八條 外資金庫ハ命令ヲ以テ定ムル期間ノ初ニ於テ事業計畫及收支豫算ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ニ重大ナル變更ヲ加ヘン

トスルトキ亦同ジ

第十九條 外資金庫ハ剩餘金ヲ政府ニ納付スベシ

第二十條 政府ハ外資金庫ニ對シ其ノ業務ニ因リテ受ケタル損失ヲ補償ス

前項ノ損失ヲ決定スル基準其ノ他損失補償ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五章 監督

第二十一條 外資金庫ハ主務大臣之ヲ監督ス

第二十二條 主務大臣ハ外資金庫ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ外資金庫ニ對シ必要ナル業務ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第二十三條 外資金庫ハ業務開始ノ際業務ノ方法ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ亦同ジ

第二十四條 主務大臣ハ外資金庫ニ對シ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、當該官吏ヲシテ検査ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 外資金庫ノ役員方法令、定款若ハ主務大臣ノ命令若ハ處分ニ違反シ若ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲サタルトキ又ハ外資金庫ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第六章 罰則

第二十六條 當該官吏若ハ第十三條ニ規定スル職員又ハ此等ノ職ニ在リタル者外資金庫ノ業務上ノ秘密ニシテ職務上知得タルモノヲ漏泄シ又ハ濫用シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二十七條 外資金庫ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ理事長又ハ理事長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル理事ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス理事ノ掌理スル業務ニ係ルトキハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同ジ

附則

第三十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十九條、政府ハ設立委員ヲ命ジ外資金庫ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第三十條 設立委員ハ定款ヲ作成シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク出資ノ第一回ノ拂込ヲ政府ニ稟請スベシ

第三十一條 出資ノ第一回ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク其ノ事務ヲ外資金庫理事長ニ引渡スベシ

理事長前項ノ事務ヲ引渡シ受ケタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ  
外資金庫ハ設立ノ登記ヲ爲スニ因リテ成立ス

第三十二條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外外資金庫ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第三十三條 登録稅法中左ノ通改正ス

第十九條第七號中「南方開發金庫」ノ下ニ「外資金庫」ヲ、「南方開發金庫法」ノ下ニ「外資金庫法」ヲ、同條第十八號中「南方開發金庫」ノ下ニ「外資金庫」ヲ加フ  
第三十四條 印紙稅法中左ノ通改正ス

第五條第六號ノ二ノ二ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ  
六ノ二ノ三 外資金庫ノ業務ニ關スル證書帳簿

〔國務大臣(石渡莊太郎君登壇)〕  
○國務大臣(石渡莊太郎君) 只今議題トナリマシタ外資金庫法案ニ付テ提案

ノ理由ヲ説明致シマス、大東亞戰爭完遂ノ爲ニハ、大東亞各地域ノ豐富ナル經濟力ヲ圓滑且迅速ニ戰力化致シマスコトノ必要アリマスコトハ、申ス迄モナイ所デアリマシテ、之ニ要スル資金ノ調達ニ付キマシテハ、政府ハ現在、南方開發金庫其ノ他關係金融機關ヲ通シテ行ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ際資金調達方式ヲ整備シ、資金ノ一元的調達ヲ圖リマス共ニ、今後ノ經濟情勢ノ推移ニ即應致シマシテ、財政ト金融トノ圓滑ナル連絡調整ヲ期シ得ルヤウ措置スル必要ガアルノデアリマス、政府ハ此ノ點ニ鑑ミ、新タニ特別ノ法入ヲ設ケ、國家ノ政策ニ即シテ在外資金ノ調達及運用ヲ爲サシメ、以テ右ノ目的達成ニ遺憾ナカラシムルコトヲ期セムガ爲、茲ニ本法案ヲ提出シタ次第デアリマス、本法案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上、速カニ協賛アラムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正巳君 只今日程ニ上リマシタ外資金庫法案ノ特別委員ノ數ヲ二十五名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス  
○子爵秋田重三君 賛成

○議長(公費徳川國顯君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公費徳川國顯君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス  
〔寺光書記官朗讀〕

外資金庫法案特別委員  
徳川 顯直君 徳田中山 輔鶴君  
侯爵西郷吉之助君 伯耆柳澤 保承君  
子爵六戸 功男君 子爵裏松 友光君  
子爵大岡 忠綱君 子爵松平 親善君  
子爵水野 勝邦君 有吉 忠一君  
青木 一男君 坂西利八郎君  
男爵高木 喜寬君 松本 丞治君  
男爵東郷 安君 河田 烈君  
男爵宮原 旭君 有賀 光顯君  
瀧 正雄君 竹下 豐次君  
磯貝 浩君 中島徳太郎君  
古莊建次郎君 岩田 三史君  
柴田兵一郎君

○議長(公費徳川國顯君) 日程第六、地方鐵道及軌道ニ於ケル納付金等ニ關スル法律案、日程第七、鐵道抵當法中改正法律案、日程第八、日本通運株式會社法中改正法律案、日程第九、郵便法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ四案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公費徳川國顯君) 御異議ナイト認メマス、前田運輸通信政務次官

地方鐵道及軌道ニ於ケル納付金等ニ關スル法律案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
昭和二十年一月二十七日  
衆議院議長 岡田 忠彦  
貴族院議長 公費徳川國顯

地方鐵道及軌道ニ於ケル納付金等ニ關スル法律案  
第一條 政府ハ大東亞戰爭ニ際シ運賃ノ調整ヲ圖ル爲其ノ他特別ノ事情ニ依リ地方鐵道又ハ軌道ノ運賃ノ變更ヲ命ジ又ハ認可シタル場合ニ於テ當該地方鐵道又ハ軌道ノ經營者ガ之ニ因リ利益ヲ得タルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ利益金ノ全部又ハ一部ヲ納付セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル納付金ハ法人稅法ニ依ル所得、營業稅法ニ依ル純益及臨時利得稅法ニ依ル利益ノ計算上之ヲ損金ニ算入ス  
第一項ノ規定ニ依ル納付金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スル

第二條 前條第一項ノ規定ニ依ル納付金ハ帝國鐵道會計資本勘定所屬ノ特別ノ資金トシ豫算ノ定ムル所ニ依リ大東亞戰爭ニ際シ地方鐵道及軌道ノ輸送力ノ確保増強ヲ圖ル等ノ爲必要ナル經費及臨時軍事費特別會計ヘノ繰入金(昭和十三年法律第二十二號ニ依ルモノヲ除ク)ニ之ヲ充用スベシ

大東亞戰爭ニ際シ地方鐵道及軌道ノ輸送力ノ確保増強ヲ圖ル等ノ爲必要ナル場合ニ於テ前項ノ特別ノ資金ニ不足アルトキハ帝國鐵道會計收益勘定ヨリ之ヲ補足スルコトヲ得  
第三條 第一條第一項ノ規定ニ依リ納付スベキ納付金ニ關スル重要事項ニ付テハ地方鐵道及軌道納付金委員會ノ意見ヲ徵スベシ  
地方鐵道軌道納付金委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第四條 政府ハ大東亞戰爭ニ際シ地方鐵道又ハ軌道ノ輸送力ノ確保増強ヲ圖ル爲其ノ他特別ノ事情ニ依リ必要アリト認ムルトキハ地方鐵道又ハ軌道ニ對シ地方鐵道補助法及種々地方鐵道補助法ノ規定ニ

拘ラズ命令ノ定ムル所ニ依リ補助金ヲ交付スルコトヲ得  
前項ノ補助金ハ第二條第一項ノ特別ノ資金ヲ以テ之ヲ支辨スベシ  
第一項ノ補助金ニ付テハ地方鐵道補助法第六條及第七條ノ規定ヲ準用ス

附則

本法ハ昭和二十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
第一條第一項ノ規定ニ依ル納付金ハ昭和十九年四月一日以後ニ於ケル運賃ノ變更ニ因リ本法施行ノ日以後ニ生ジタル利益ニ付之ヲ納付セシムルモノトス

鐵道抵當法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
昭和二十年一月二十七日  
衆議院議長 岡田 忠彦  
貴族院議長 公爵徳川閉順殿

鐵道抵當法中改正法律案

鐵道抵當法中左ノ通改正ス  
第二十六條ノ二ノ次ニ左一條ヲ加フ  
第二十六條ノ三、軌道ヲ地方鐵道ニ變更シタル場合ニ於テハ當該軌道

ニ付明治四十二年法律第二十八號ノ規定ニ依リテ爲シタル處分、手續、登錄其ノ他ノ行爲ハ鐵道抵當法中之ニ相當スル規定ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト見做ス  
前項ノ場合ニ於ケル登錄ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
第九十三條ヲ削ル

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第二十六條ノ三ノ規定ハ本法施行前軌道ヲ地方鐵道ニ變更シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

日本通運株式會社法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
昭和二十年一月二十七日  
衆議院議長 岡田 忠彦  
貴族院議長 公爵徳川閉順殿

日本通運株式會社法中改正法律案

日本通運株式會社法中左ノ通改正ス  
第九條ノ二第一項中「二千圓ヲ限リ」ヲ削ル  
第十七條 削除  
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

郵便法中改正法律案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
昭和二十年一月二十七日  
衆議院議長 岡田 忠彦  
貴族院議長 公爵徳川閉順殿

附則

第一種 書狀  
第二種 郵便葉書  
第三種 毎月一回以上刊行スル宗期刊行物  
第四種 書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、畫、圖、商品ノ見本及雛形、博物館上ノ標本  
第五種 農産物種子

附則

本法ハ昭和二十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
「政府委員(前田房之助君登壇)」  
○政府委員(前田房之助君) 只今上程サレマシタ運輸通信省關係四法案ニ付順次提案理由ヲ御説明申上ゲマス、先ヅ地方鐵道及軌道ニ於ケル納付金等ニ關スル法律案ノ提案理由ヲ御説明申上ゲマス、地方鐵道又ハ軌道ガ事業經營上ノ理由ニ基カズシテ、國有鐵道ノ運賃トノ權衡ヲ圖ル爲其ノ他臨時施策ニ依

郵便法中改正法律案  
郵便法中左ノ通改正ス  
第十八條第一項ヲ左ノ如ク改ム  
通常郵便物ノ種類及料金ハ左ノ如シ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ料金ヲ低減スルコトヲ得

重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ	十錢
通常葉書 往復葉書 封緘葉書	五錢 十錢 十錢
重量百グラム又ハ其ノ端數毎ニ	五錢
重量百グラム又ハ其ノ端數毎ニ	十錢
重量百グラム又ハ其ノ端數毎ニ	三錢

由ヲ御説明申上ゲマス、現行法ノ規定ニ依リマス、抵當權ノ設定アル軌道ガ地方鐵道ニ變更サレマシタ場合ニハ、一應軌道財團ヲ消滅セシメ、改メテ鐵道財團ヲ組成ノ上、抵當權ノ設定及登錄ノ極メテ複雑ナル手續ヲ破サナクシテラナイノデアリマスガ、此ノ手續ヲ簡素ニスル爲、從來軌道トシテ爲サレタ處分、手續、登錄其ノ他ノ行爲ハ、鐵道抵當法ノ相當規定ニ依リテ爲サレタモノト看做スコト致シタイノデアリマス、次ニ日本通運株式會社法中改正法律案ノ提案理由ニ付テ御説明申上ゲマス、日本通運株式會社ハ、昭和十二年設立以來、鐵道小運送ノ助成發達ニ専念スルト共ニ、大東亞戰爭直前ヨリ、六大都市其ノ他重要地帯ニ於ケル鐵道小運送ノ擔當者トシテ、小運送業ノ統合、貨物自動車、荷牛馬車、其ノ他ノ運搬具及ビ荷役機械ノ増備、並ニ勤務管理ノ刷新強化等ノ諸方策ヲ講ジテ、小運送能力ノ増強ニ努メテ參リマシタガ、戰局ノ急迫ニ依リ鐵道輸送ハ更ニ増加ヲ豫想セラレ、小運送力ノ整備、擴充ハ愈々急ヲ要スルモノガアリマス、日本通運株式會社ヲ中心トスル鐵道小運送力ノ緊急増強ヲ圖ルコトト致シタイデアリマス、而シテ其ノ所要專業資金ノ調達ニ關シマシテ



ハ、主トシテ社債ニ依ルヲ適當ト認メ  
ラレルノデアリマスガ、現在日本通運  
株式會社ノ發行スル社債ニ對スル政府  
ノ元利支拂保證ノ限度ハ二千萬圓トナ  
ツテ居リマスルノデ、此ノ制限ヲ除キ  
マシテ、社債ノ全額ニ付保證シ得ル  
コトトシ、以テ小運送力ノ急速増強ヲ  
圖ルニ必要ナル事業資金ノ調達ヲ圓滑  
ナラシメ度、本法律案ヲ提出スル所以  
デアリマス、最後ニ郵便法中改正法律  
案ノ提案理由ヲ御説明致シマス、申上  
ゲル迄モナク時局ハ極メテ重大デアリ  
マシテ、大東亞戰爭完遂ノ爲ニ戰時通  
信能力ヲ増強確保シ、又國庫收入ノ増  
加ヲ圖リ、戰時財政ノ強化ヲ期スルコ  
トハ最モ喫緊ノ要事デアリマス、斯カ  
ル必要ニ基キマシテ、通信事業ノ圓滑  
ナル運営及ビ其ノ能力ノ増強ニ必要ナ  
ル經費ニ充當シマスト共ニ、併セテ國  
家財政強化ニ資スル爲ニ郵便料金ノ引  
上ヲ致サムトスルモノデアリマスガ、  
書狀、葉書等ノ通常郵便物ノ料金ハ、  
郵便法ニ規定セラレテ居リマス爲ニ、  
之ヲ改正法律案ヲ提出シテ次第デアリ  
マス、今回行ヒマス郵便料金ノ引上ハ、  
通常郵便料金ノ全部ニ互ツテ居リマス  
ガ、郵便ハ最モ普遍的ナル通信手段デ  
アル點ニ鑑ミ、引上割合ヲ可及的低ク  
致シマスト共ニ、未熟従事員ノ増加、

切手調達困難等ノ實情ニ鑑ミ、料金ノ  
種類、段階ヲ單純ニシテ、以テ取扱ノ  
簡易化ト切手ノ供給調節トヲ圖ツタノデ  
アリマス、以上四法案ニ付何卒御審議  
ノ上速ニ御協賛アラムコトヲ希望致シ  
マス

- 子爵戸澤正己君 只今上程セラレマシタ地方鐵道及軌道ニ於ケル納付金等ニ關スル法律案外三件ノ特別委員ノ數ヲ十二名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス
- 子爵秋田重季君 贊成
- 議長(公爵徳川圓順君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵徳川圓順君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔寺光書記官朗讀〕  
地方鐵道及軌道ニ於ケル納付金等ニ關スル法律案外三件特別委員  
院中御門 經恭君 伯第二荒 芳徳君  
子爵保科 正昭君 子爵大久保教尙君  
村上 善一君 内田 重成君  
田邊 治通君 男爵柴山昌生君  
大橋 八郎君 男爵神山喜瑞君  
渡邊 覺治君 秋田 三一君

○議長(公爵徳川圓順君) 次會ノ議事  
日程ハ、決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日は是ニテ散會致シマス  
午前十時四十七分散會